

史蹟めぐりについて

史蹟めぐり委員会 東 和伺

1 はじめに

「史蹟めぐり」は、本校において約 60 年前から続く伝統ある行事であり、現在では毎年 2 学期末に行っている。平成 26 年度から新コースの策定が始まったが、以前の詳しい資料が残っていなかったため、本校の教諭（地歴公民科）が垂水市観光協会の川崎あさ子さんの協力を得ながら自らの足で史蹟を巡り、平成 26 年度に新 A コース、平成 27 年度に新 B コース、平成 28 年度に新 C コースを策定した。生徒は 3 年間でこの 3 コースを全て歩くことになっている。

2 取り組みの状況（各年度の詳細は別紙に記載）

(1) 目的

- ① 地元輩出の先人たちの事績をたどることで、郷土についての認識を深めつつ、いまの垂水に自分が存在する意味やこれからの未来について考える。
- ② 長い距離を、有縁の師や先輩・後輩・同期生とともに歩くことで、協力して目標を達成することの喜びを得るとともに、一人一人が校訓の「和・学・行」の重要性を理解して自己有用感を得る。
- ③ 長い距離を踏破することを通して、心身を鍛え、心身の増強に努める。
- ④ 美化活動をとおり、勤労奉仕の意識と態度を涵養する。

(2) 実施年度・コース

・令和元年度 Aコース

学校→ 俣江観音・俣江五輪群→ 柘原貝塚→ 国一様のお墓→ 玉照寺跡五輪塔群→
（カネッサどん）→ 神貫神社→ 松尾城入口→ 新城お仮屋→ 落花生伝来地→
西郷南洲翁仮宿跡→ おろごめ→ 切目王子神社→ 鹿児島神社→ 学校

・令和2年度 Bコース

学校→和田英作画伯の碑・瀬戸口藤吉翁の碑・肝付素方の句碑→ 川上周賢墓碑と福寿寺跡
牧の薬師如来像→ 勝軍地藏→ よめじょ川用水取水口→ 手貫（タテ）神社
孝子市太郎の墓→ 垂水島津家墓地→ 林之城跡・お長屋（現垂水小）→ 学校

・令和3年度 Cコース

学校→ 市木の通称「アカメンどん」・田の神 5 号→ 新田神社近くの耕地整理記念碑→
垂水城・殿様水→ 田の神 6 号→ 子安観音→ 江ノ島温泉→ 弁財天伝説碑→
海潟造船所跡→ 海潟さくら公園→ 菅原神社・櫻島焼亡塔→ 才原金次郎翁の碑→
旧垂水港にある第六垂水丸遭難者慰霊之碑→ 学校

3 終わりに

過去には、「史蹟めぐり」の意義を十分に理解せず、ただ友人と歩くということに終始する生徒が多かった。そのため、この行事の意義を十分に伝えるための資料を用意し、事前学習や事前指導を充実させた。また、地元の有識者の方々に協力していただき、当日は各場所で説明を行うようにしたところ、各史蹟について積極的に学ぼうとする姿が見られるようになった。以前の感想文では「きつかった」「寒かった」などの内容のものが多かったが、最近では心に残った史蹟について詳しく述べ、それらを後世に伝えることの重要性について書かれた内容のものが増えた。さらに体力に自信がなかった生徒が、その年に歩き切ることで達成感と自信を得られ、次の年はより意欲的に参加するという姿もしばしば見られた。

このように「史蹟めぐり」は、生徒にとって非常に有意義な体験となっていると言える。今後も目的に沿って、より充実した内容になるよう、計画・実施していきたい。